2 テトロホスミンテクネチウム (99mTc)

販売名(会社名)	マイオビュー「注射用」, 同注シリンジ (日本メジフィジックス株式会社)
薬 効 分 類 等	放射性医薬品
効能又は効果	心筋シンチグラフィによる心臓疾患の診断、初回循環時法による心機能の診断

《使用上の注意 (下線部追加改訂部分)》

(新記載要領)

2. 禁忌 本剤の成分に対し過敏症の既往歴のある患者

(次の患者には 投与しないこと)

(新設)

11. 副作用 ショック, アナフィラキシー

11.1 重大な副作用

(新設)

〈参 考〉 医薬品医療機器総合機構における副作用等報告データベースに登録された症例で因果関係 が否定できないもの。

【国内症例】

2例(うち死亡0例)

【海外症例】

8例(うち死亡0例)

企業が推計した過去1年間の推定使用患者数:約58,000人

販売開始:マイオビュー「注射用」:1994年4月

マイオビュー注シリンジ296MBq, 592MBq:1997年1月

マイオビュー注シリンジ740MBg:1998年1月

[症例概要]

血圧 (mmHg)

		患者	4 口扒上里	副作用	
No.	性· 年齢	使用理由 (合併症)	1 日投与量 投与期間	経過及び処置	
1	男 70代	ATP負荷心 筋シンチグラ フィー (なし)	296MBq 単回 ↓ 740MBq 単回	アナフィラキシーショック 原疾患:労作性狭心症 既往歴:間質性肺炎、高血圧 副作用歴:ヨード造影剤アレルギー 本剤投与歴:なし 投与開始前 ATP製剤による薬剤負荷を実施。 投与開始日 1回目本剤296MBqを投与(負荷時)。 (投与終了日) 1回目投与 上肢、体幹に蕁麻疹を発現。 終了20分後 1回目投与 ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム200mg点滴静脈終了30分後 注射。症状は、軽快。 1回目投与 2回目本剤740MBqを投与(安静時)。 2時間22分後 2回目投与 アナフィラキシーショックを発現(発赤、そう痒感、冷汗、終了30秒後 全身に蕁麻疹、紅斑、血圧低下、意識レベル低下、尿失禁)。 2回目投与 ヒドロコルチゾンリン酸エステルナトリウム200mg点滴静脈終了8分後 注射、ヒドロキシジン塩酸塩1A静脈注射。バイタル、症状とも改善。 2回目投与 アナフィラキシーショックは回復。 終了30分後 投与1日後 異常なく、退院。	

脈拍 (回/分) - 77 82 85

検査項目(単位) 投与開始前 1回目投与終了70分後 2回目投与終了1分後 2回目投与終了8分後

75/ –

| 併用薬:アデノシン三リン酸二ナトリウム水和物,カンデサルタンシレキセチル・アムロジピンベシル酸塩,アムロジピンベシル酸塩

100/71

123/61